



～年間聖句～「だから、キリストと結ばれる人はだれでも、新しく創造された者なのです。古いものは過ぎ去り、新しいものが生じた。」コリントの信徒への手紙Ⅱ 5章17節

musicGate とのコラボレーション～「ふくおか地域貢献活動サポート事業」

福岡女学院中高と「NPO 法人 music Gate」とのコラボレーション企画が、3年前から本校の講堂を使って行われるようになりました。NPO 法人 music Gate の代表を務める北條氏が知り合いの知り合いということで、3年前、私を本校に訪ねてきたことからすべては始まりました。北條氏は、本校を大変リスペクトされており、まだこの学校に来たばかりの私など足元にも及ばないほど本校への理解と愛がありました。

初年度は、まずは音楽イベントを企画し、本校音楽科の生徒の演奏も入れていただきました。プロの演奏家の演奏や音楽を愛する多くの方との交流もあり、とてもいいスタートができました。

2年目は、音楽演奏だけでなく演劇もあり、多くの観客を集めることができました。本校生徒（オケ部・音楽部）の参加もできました。

去年は、タイトルにもあるように、「ふくおか地域貢献活動サポート事業（自由提案型）」という社会貢献活動を応援する助成事業を目指そうということになり、企画案を作成することにしました。この「自由提案型」は、活動分野を限定しない自由で先進的な発想や専門的なノウハウを活かした公益性の高い事業ということです。企画案作成の際は、本校の吉松事務長にもアドバイスをもらいながら作成・提出

し、外部有識者の審査を経て承認されました。

その内容は、「高齢者と子どもの交流体験イベント&コンサート」というタイトルで、本校とNPO 法人 music Gate を中心とした5団体の協議体として活動することになりました。その協議体の名称は「グレープエンジェル」です。本校の香りがたっぷりに入った名前です。

この3回目は、プロの演出家の参加もあり、そのご指導の下、本校の音楽部が初めから終わりまで舞台進行を仕切るという貴重な経験をさせていただきました。また、オケ部もプロの



演奏家のご指導を受ける機会があり、生徒たちは無料で（笑）、本番までの打ち合わせや練習でプロの指導を受けることができたことは貴重な経験になったと思います。ステージでは、プロの音楽家や本校のオケ部・音楽部、小学生の合唱団などが出演しました。実はそのコンサート前の時間は、本校の教室を使って、高齢者が先生となる昔遊び体験、音楽家による楽器体験、子どもが先生となるeスポーツ体験、駄菓子屋交流などの「3世代交流イベント」を開催しました。ここにも約350人が参加しました。浴衣での来場にはプレゼントという企画もあり、主に小学生の30人の方が浴衣で来られました。祖父母・親・子みんなでこのイベントを楽しみました。

本年度は、8月4日（日）に本校講堂・教室にて開催します。今回は障がい者の団体との交流も考えており、また一段とつながりが広がっていく気がしています。具体的な内容についてはまたお知らせします。また、「NPO 法人 music Gate」と本校は、6月13日に教育連携の調印式も行う予定です（HPで紹介します）。

このイベントは、生徒・保護者の方、地域の方、どなたでも参加できます。参加することで、多くの気づきや豊かな感情を手に入れること



ができます。このようなイベントへの参加も、成長につながる「たし算」になると思います。

年度初めの始業式の話をおぼえていますか。本年度、私が大切にしたい思いを言葉にしました。それは「成長はたし算」という言葉でした。そして、次のことを言いました。

『みなさんにはいろいろなコミュニティに所属して、行動のレパートリーを増やしてほしいと思っています。つまり、主体的なチャレンジを増やして「経験」という財産を増やしてほしいと思っています。このことが、「たし算」であり、みなさんの成長につながります』。

(学校長 重枝 一郎)